学ポタを見える化する

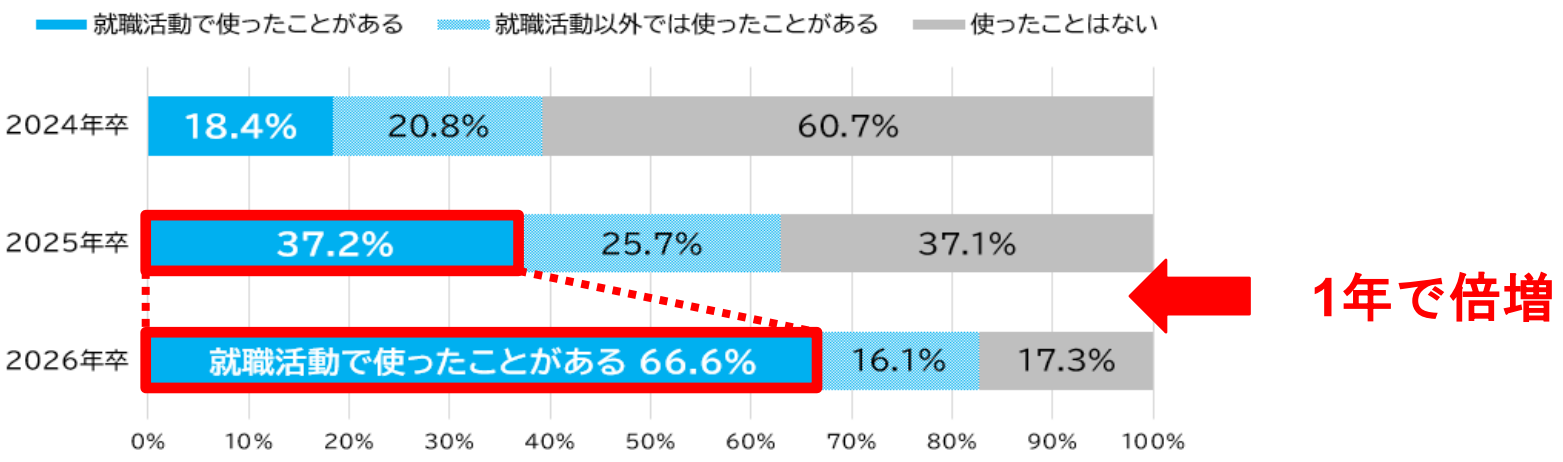
履修DB-α

学ポタの必要性と効果
ご案内資料

RDC
履修データセンター

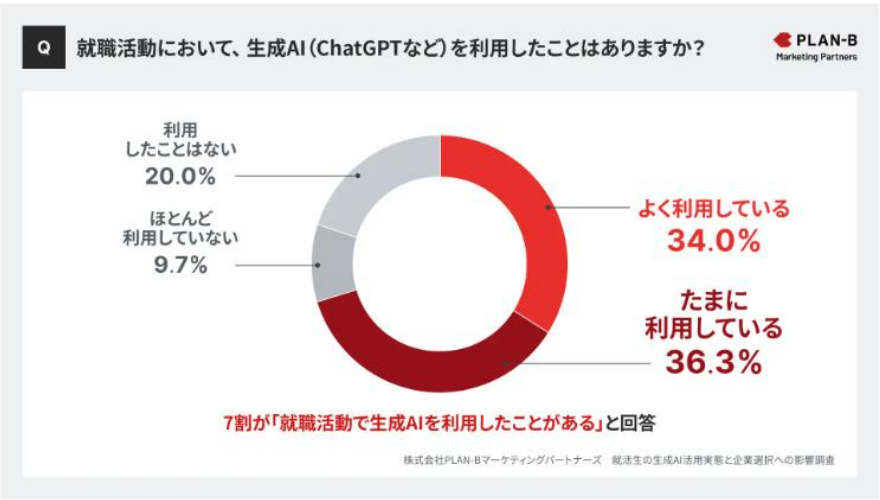
従来の面接の限界と歩留まりの低下

生成ＡＩの更なる普及



マイナビ 2026年卒 大学生キャリア意向調査4月＜就職活動におけるAI利用について＞

■ 就活シーンでのAIの活用度―就活生の7割が生成AIを利用



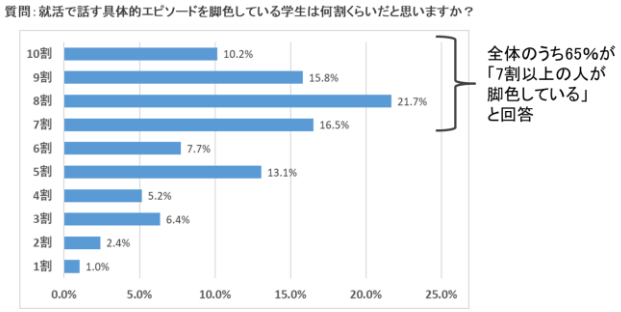


脚色の増加とガクチカ面接の限界

RDC 履修データセンター

■大半の学生がエピソードの脚色をし、真偽の判定は極めて困難になっています

学生間では脚色が一般的であることが確認されています



多様な脚色があるので短い面接時間では見極めができません

エピソード脚色例

①**3年間**所属した②**100人規模**のサッカーサークルの③**副幹事長**として、組織運営とチームビルディングに取り組みました。前年まで練習の参加率が約④**60%**でしたが、私が副幹事長になってからは、チームの明確な目標を決めて全員で達成しようと団結力を高めた結果、⑤**90%以上になりました**。

実際は

①**半年間**	(**期間**の脚色)
②**30人**	(**規模**の脚色)
③**役職なし**	(**役職**の脚色)
④**80%**	(**数字**の脚色)
⑤**変わらない**	(**結果**の脚色)

■生成AIの拡がりで全学生が手軽に脚色でき、真偽の判定は不可能と言えます

生成AIの利用で脚色には努力も能力も必要なくなりました

これまでの脚色	生成AIでの脚色
一定の能力が必要 ・効果的な脚色内容が作れる ・ばれないレベルが分かる	**不要**
一定の努力が必要 ・脚色の試行錯誤 ・友人などへの確認	

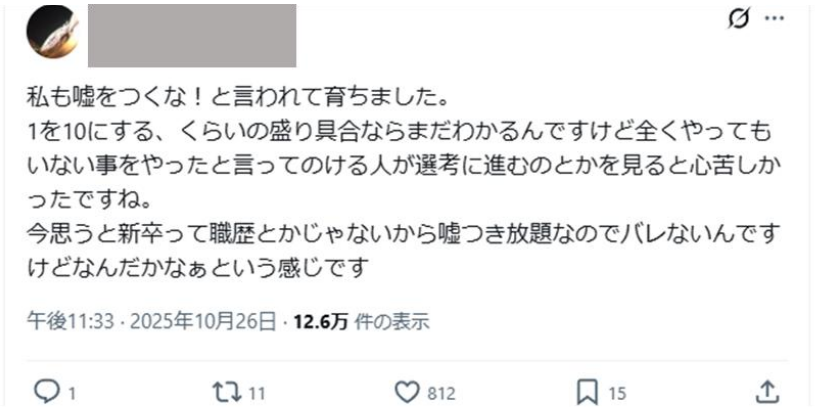
生成AIの作るエピソードの精度は熟練の面接官でも脚色の見極めは不可能です

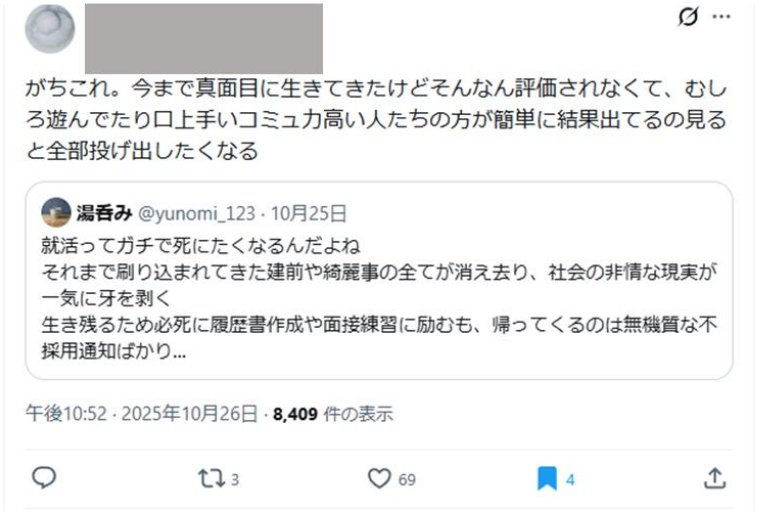
生成AIサービスを活用した虚偽エピソード作成の実例

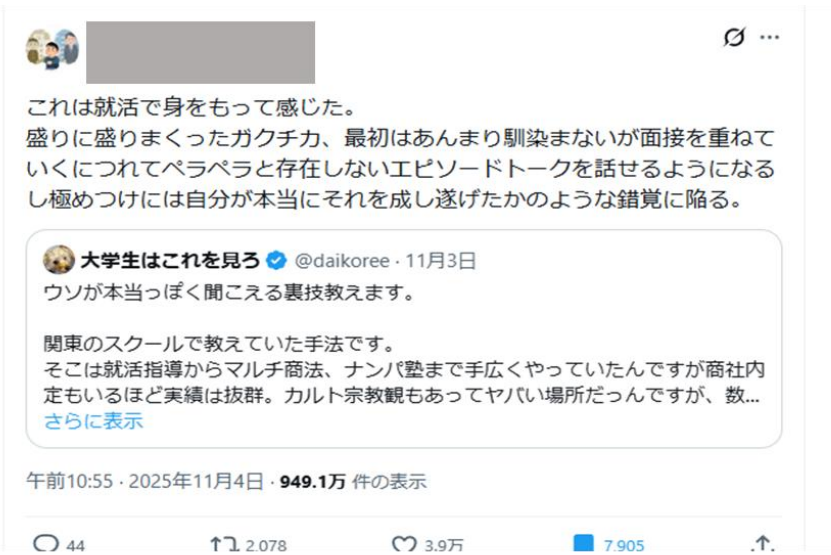
生成AIへの指示：「飲食店での架空のアルバイト経験で企業にアピールできそうなエピソード作って」
回答
もちろんです！以下に、飲食店での架空のアルバイト経験をもとに、企業にアピールできそうなエピソードを作成しました。
エピソード: 繁忙期の効率的なオペレーション改善
背景: 大学在学中に地元の人気レストランでアルバイトをしていました。
特に週末やイベントシーズンには、客数が急増し業務が一時的にパンクすることが課題となっていました。
アクション: そこで私は、店長と相談し、繁忙期の業務効率を向上させるための具体的な改善策を提案し、実行に移しました。
以下のステップで改善を行いました。
1.タスクの最適化:
各スタッフの役割を再評価し、調理、配膳、清掃などのタスクを効率よく分担する新しいシフト体制を導入しました。
2.トレーニングプログラムの実施:
新人スタッフ向けのトレーニングプログラムを策定し、実施することで、スタッフ全体のスキルレベルを底上げしました。
3.リアルタイムフィードバックシステムの導入:
業務中におけるスタッフ間のコミュニケーションを強化するため、無線機を導入し、
リアルタイムでのフィードバックと指示出しを行いました。
4.顧客サービスの向上:
顧客アンケートを実施し、サービス改善のフィードバックを収集しました。
その結果を基に、接客マニュアルを改善し、顧客満足度の向上を図りました。
5.在庫管理の効率化:
デジタル在庫管理システムを導入し、食材の在庫状況をリアルタイムで把握できるようにしました。
これにより、無駄を減らし、効率的な発注が可能となりました。

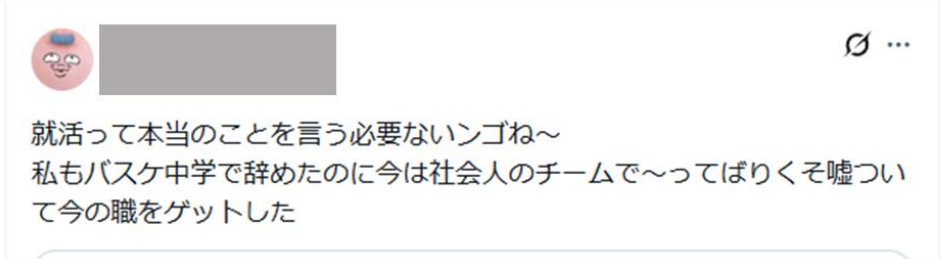
学生の意識の変化　　ＳＮＳにあふれる学生の不満

多くの学生が虚偽で「盛る」ことを前提とした面接に疑問と憤りを感じています





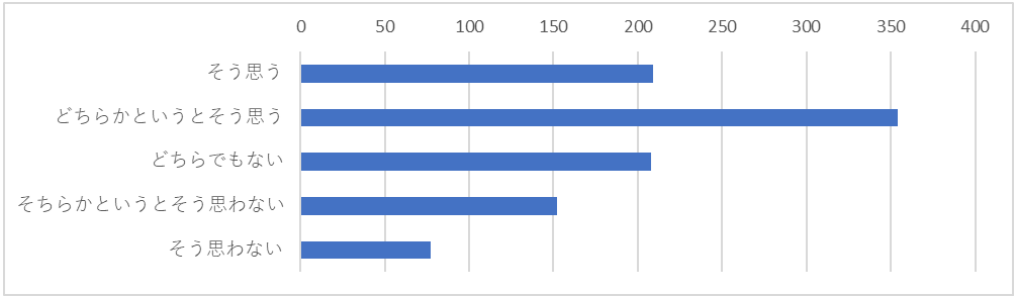




学生の意識の変化　従来の面接では歩留まり低下の恐れ

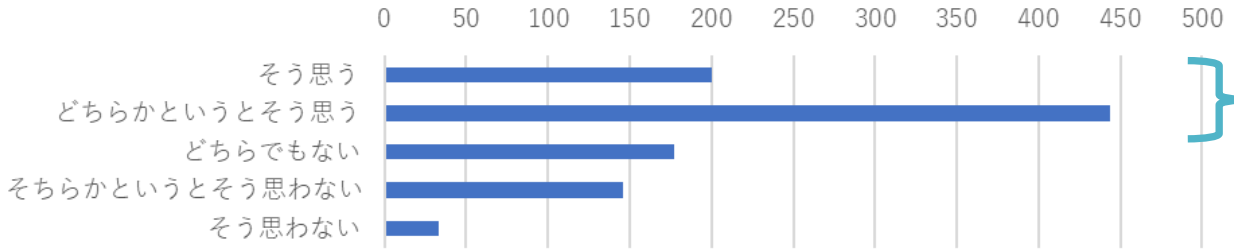
エピソード確認中心の面接に否定的であり、もはや志望度（歩留まり）を下げる要因に

質問：多くの学生が脚色しているのに、そのエピソードで判断している面接は疑問に思いますか？



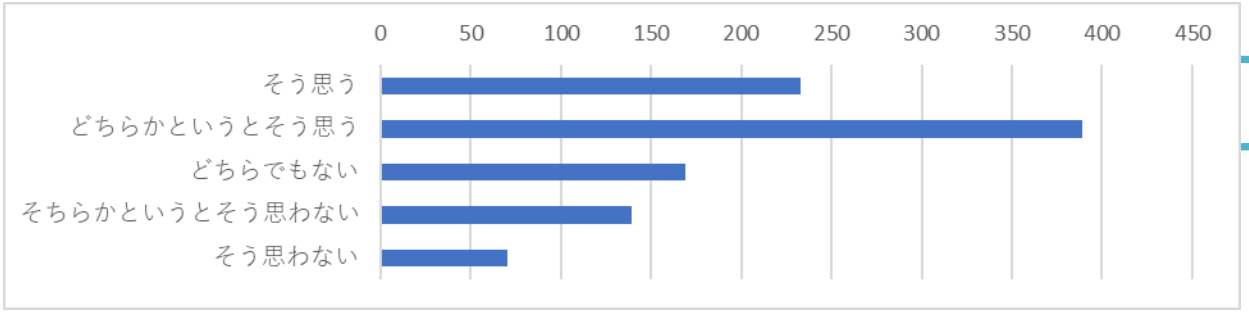
56.3%

質問：本人の資質ではなく、自分をうまく見せるコミュ力だけで判断している面接が多いと思いますか？



64.4%

質問：エピソードの話が中心の面接は、結果として学生の脚色を助長していると思いますか？



62.2%

学ポタ面接が解決策となる理由

本来企業が確認したいこと

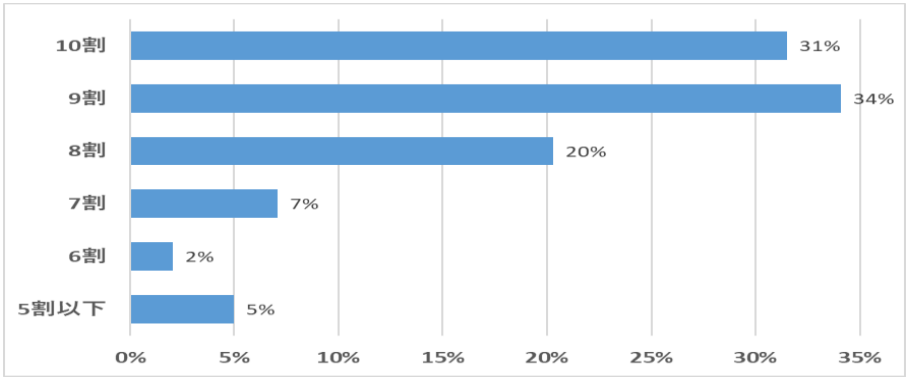
✕ **成果・経験（何を頑張ったか、何をしたか）**
「部活で全国大会出場」、「バイトで副店長」、「インターンで1位」等

☞ **ポータブルスキル（発揮された資質）**
「主体性・積極性」、「コミュニケーション力」、「リーダーシップ」
「課題解決力」、「やり抜く力・継続力」等

学生の生活時間の変化とその影響

①数年前から大学の出席管理が厳正化し、学生はほぼ全ての授業に出席するようになりました

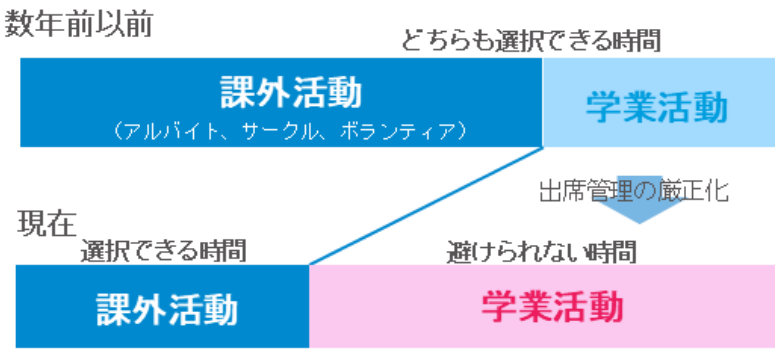
質問：授業の出席割合を教えてください。



全体のうち86%が
8割以上授業に出席

※2024年4月実施の25卒就活生約600名のアンケート結果

②「避けられない時間」となった学業場面に、価値観・行動特性が表れるようになっています



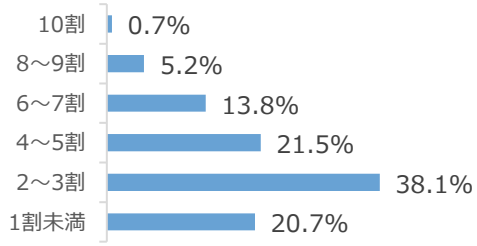
- **学業活動は<u>全学生共通の避けられない環境</u>に変化した**
  - ・124単位の取得（卒業要件）
  - ・4年間で約1,600～2,000時間の授業出席
- **そこに表れる個人の価値観・行動特性**
  - ・学業場面での**意図・目標**
  - ・授業の選択方法
  - ・授業中の**時間の使い方**
  - ・単位取得・成績への**こだわり**
  - ・テスト対策法・レポートの工夫
  - 等々

ここに学ポタが表れる

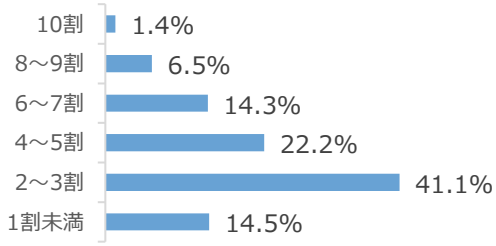
（参考）現在の大学の状況を表すアンケート結果

授業選択の考え方に関する質問

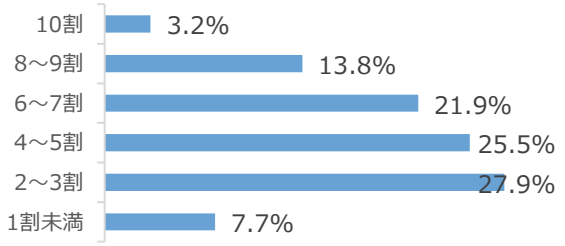
今まで取った講義の中で、「楽単だから」選択した授業の割合はどのぐらいですか？



今まで取った講義の中で、「将来的に役立つと思ったから」選択した授業の割合はどのぐらいですか？



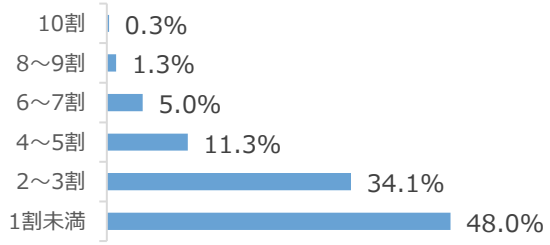
今まで取った講義の中で、「自分の興味関心のある分野だから」選択した授業の割合はどのぐらいですか？



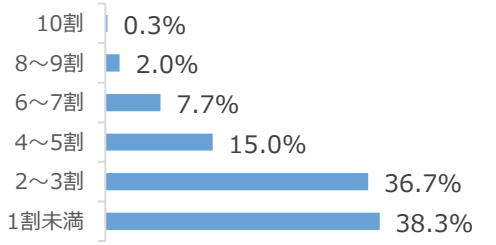
授業出席が当たり前となった現在、学生は授業選択に何らかの意図や考えを持っており、
そこには学生の価値観や行動特性が出ていることが言える

単位取得の難易度に関する質問

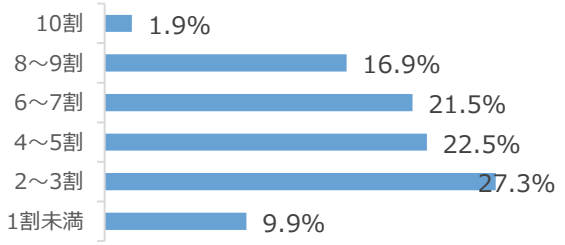
出席さえしていれば単位が簡単に取れる授業は、全体の中でどれくらいありますか？



出席しなくても、最終レポートや簡単なテストのみで単位が取れる授業は、全体の中でどれくらいありますか？



予習・復習やテスト対策レポート対策をしないと単位を取りにくい授業は、全体の中でどれくらいありますか？



現在の授業は、楽に単位が取れる環境ではないことがうかがえる

ポータブルスキルが発揮される場面

課外活動
（部活動・サークル・バイト等）

＝＝

ガクチカ・自己ＰＲの
エピソードで見極め

＋

学業活動
（授業・課題 ・ テスト等）

＝＝

成績証明書等の
事実を基に見極め

課外活動の確認に加えて、事実を基にした選考も
行う必要性が高まっています

学ポタの例

「学ポタ」は学業場面に表れるポータブルスキルの略で、学業行動の確認をよりポジティブに捉えるため「学ポタ」と言うワードを提唱し、広まってきています

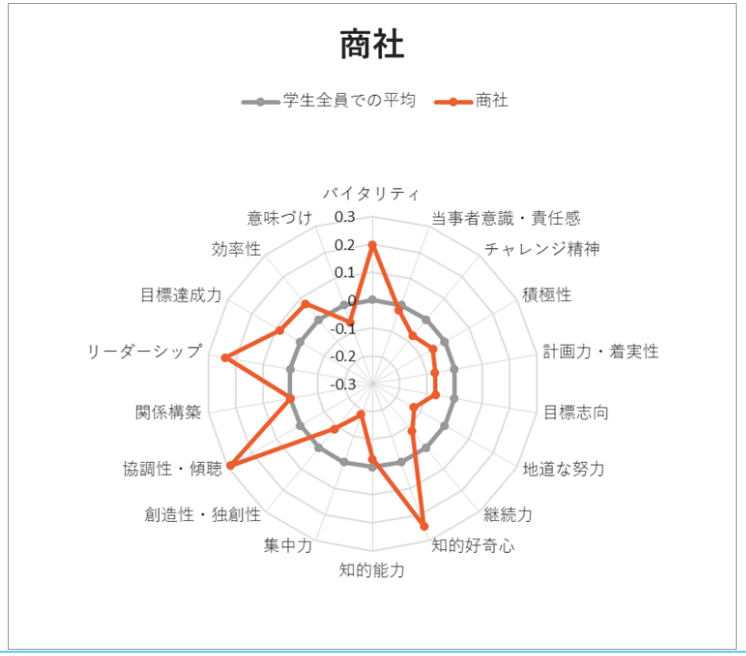
※「成績の良し悪し」「勉強を頑張ったかどうか」「知識レベル」だけでなく継続的に発揮される資質です

A	目標達成力・実行力	：単位を落とさないなど、自分なりに決めたことは達成させる目標達成力はある方だと思う
B	バイタリティ・タフさ	：課外活動と学業の両方に力をいれ、他の人に比べて忙しいことが平気でバイタリティがあると思う
C	計画性・着実性	：テスト対策やレポート準備などで、計画的に進める計画力・着実性がある方だと思う
D	目標設定力・目標志向	：GPAや特定科目の成績など、自分なりの目標を作って取り組むタイプで目標志向だと思う
E	知的好奇心旺盛	：興味を持つ範囲が広い、あるいは興味を持ったことは深めるなど知的好奇心は旺盛な方だと思う
F	効率性・能率性	：単位の取得や勉強量に比べて成績など、効率的に結果を出せる力は比較的高い方だと思う
G	忍耐力・粘り強さ	：好きなことでなくても必要なら地道な努力を厭わないので、自分なりに納得できる成果を残せる
H	傾聴力・コミュ力	：グループワークなどで他の人の意見をうまく引き出すなど、傾聴力やコミュ力は高い方だと思う
I	知的能力・地頭	：授業等で理解する力・考える力・記憶する力・関連付ける力等の知的能力は比較的高い方だと思う
J	関係構築力	：テスト対策など友人や先生などの周りの協力を引きだす関係構築力は比較的高い方だと思う
K	その他のポータブルスキル	

履修DB-αにおける学ポタ選択肢

（参考）業界による内定者の学ポタの違い



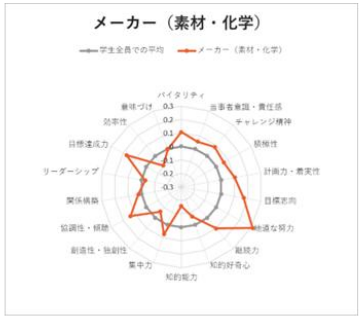


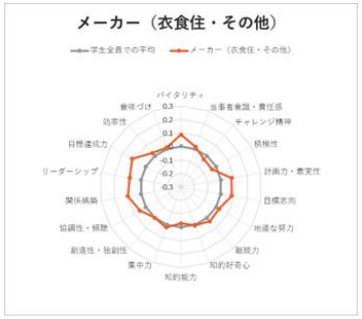
- 全体的に「平均」に近く、バランスが取れている
- 多くの人と連携するための「協調性・傾聴」がやや高い
- 専門的な業務に向き合う「集中力」が評価されている

- 「バイタリティ」が高く、体力と精神的なタフさが求められる
- 「協調性・傾聴」が突出して評価されている
- 未知のビジネスや情報に対する「知的好奇心」が高い

（参考）業界による内定者の学ポタの違い

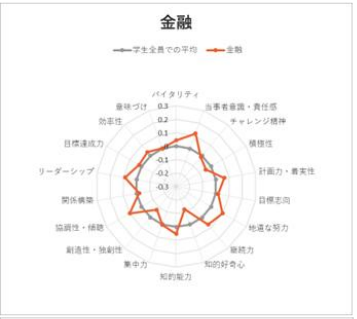




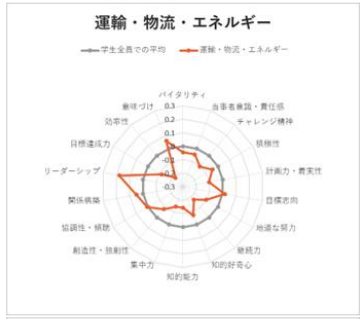








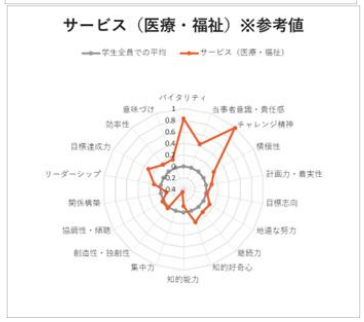


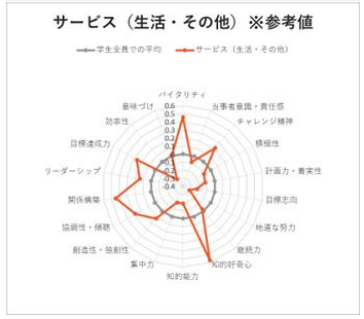


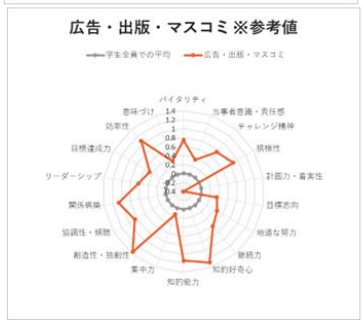








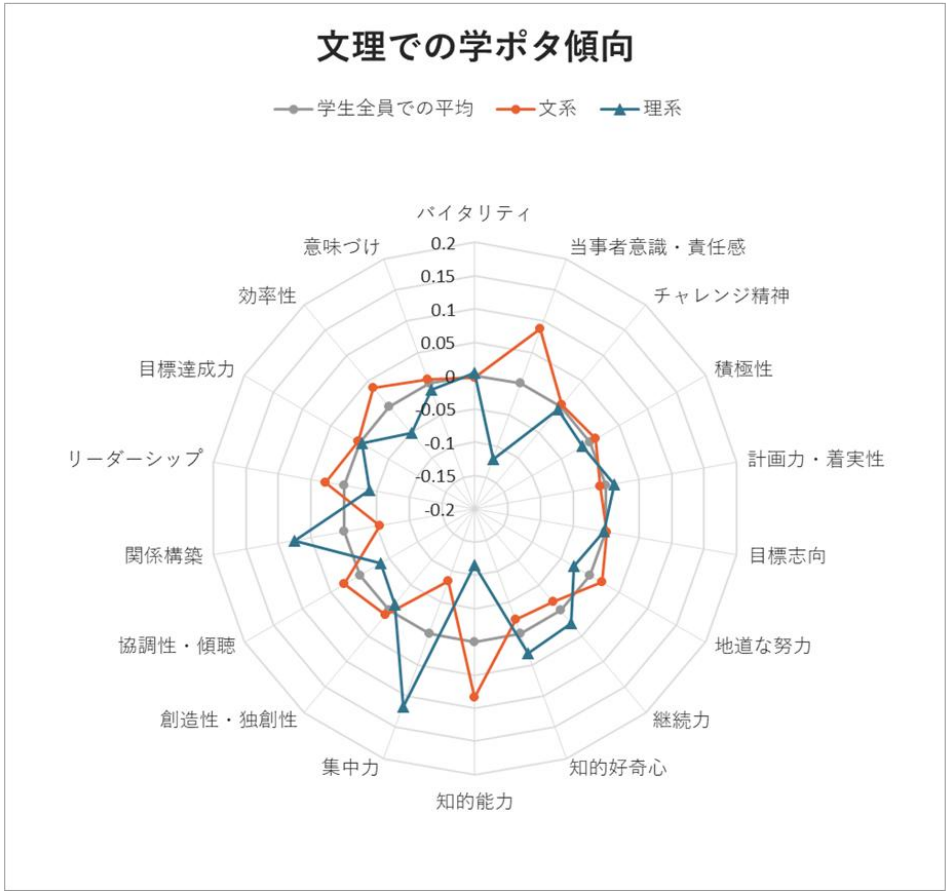


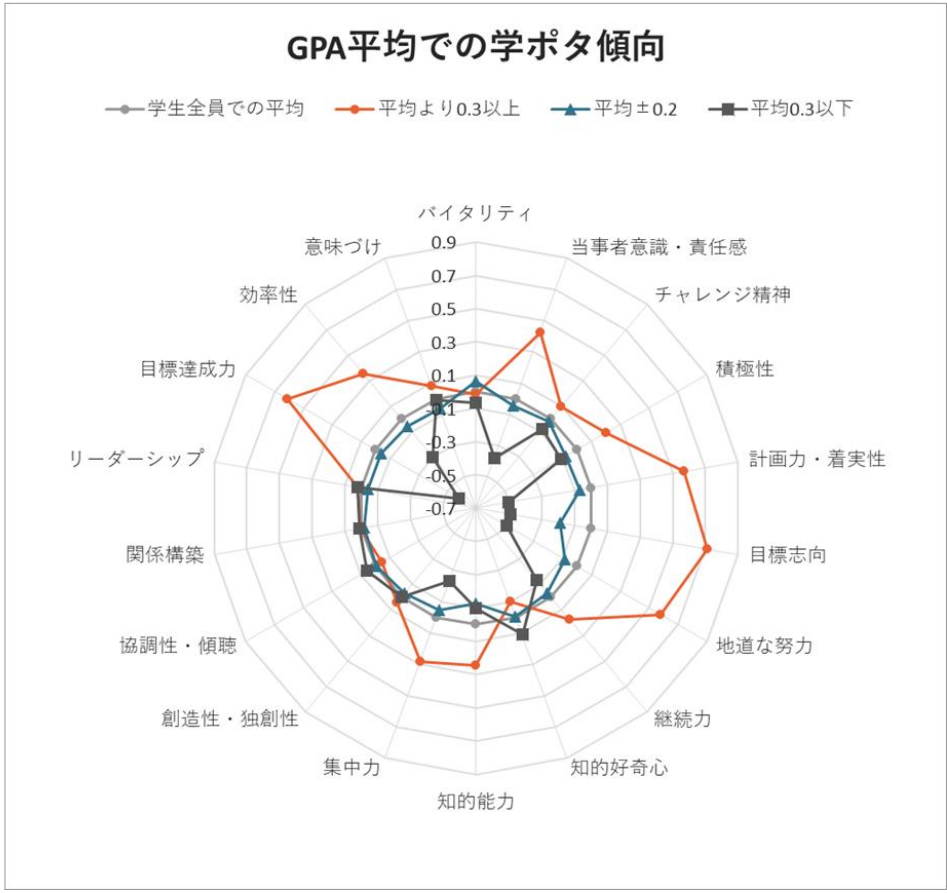




（参考）属性による学ポタの違い

- 学生の属性によっても学ポタは違う





学ポタ面接実施企業の声（2026年2月時点　履修DB-αご利用企業）

- これまでより多面的に学生の資質を確認することができた
- 自己PRや適性テストとの違いについて事実を基に確認できるのは便利
- 新たな視点が得られて今までと違う角度からも質問できるのが良い
- 短い面接時間の中で本人の認識と事実の相関、乖離が短時間で効率的に確認できるので面接がとても進めやすい
- 面接官のスキルレベルによらず短時間で正確に確認できるので、公平に確認できていると感じる

「学ポタ」概念の普及に関する主な動き

- 2026年3月に発出された政府からの要請に明確に盛り込まれた
「学修ポートフォリオ（中略）を募集段階といった選考の早期の段階で取得し、
学業に取り組む過程で培われた汎用的な能力等を適切に確認・評価いただきたい。」
内閣府サイト：https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku_katsudou_yousei/2027nendosotu/index.html

- 採用における評価軸の歪みや限界を指摘し、「何を見て人を評価すべきか」を問い直す書籍や議論が相次いでいる（例：『**採用一新**』）

- 2026年4月には、脚色や誇張を前提としない『**盛らなくてよい就活**』という価値観を提示する就活生向け書籍が出版予定

- 大学・企業・研究者が参画し、学業場面に表れている力を正当に捉えることを目的とした**学ポタ推進委員会**が発足予定

- 履修DB-α登録学生13万人が既に学ポタを認識し、面接で自己ＰＲに活用している
⇒　最終的には20万人規模になる見込み

「学ポタ」が今後も廃れることが無い理由

- 人が力を身につける過程として、最も長く安定して続く行動が学業であるという事実は変わらない
- 学業は短期的な出来事ではなく、複数年にわたる継続的な行動の積み重ねである
- そのため、学業行動に着目して評価することは、特別な発想ではなく極めて自然で当たり前の評価方法である一方、ガクチカ・自己PR中心の採用は、短期的で印象に左右されやすく、脚色や誇張を助長しやすい構造を持つ
- 学ポタ確認は、学生に正直でいることを許し、企業に評価の再現性をもたらすことで、採用の健全性を回復する

学ポタ面接の実施方法

学ポタ面接で用いる確認資料

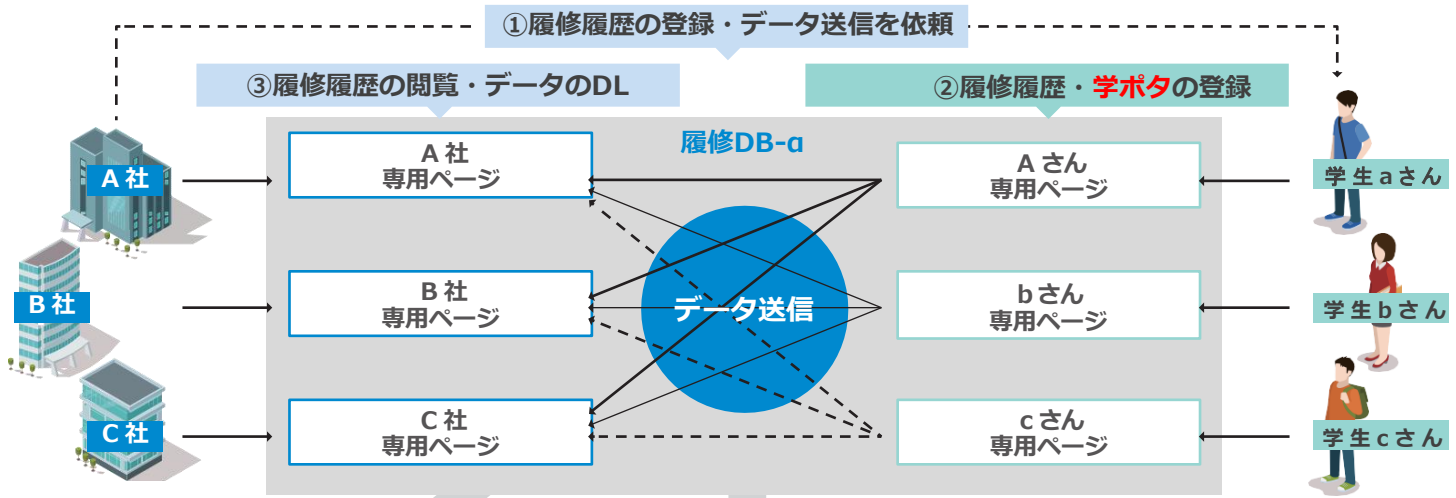
学校が発行する成績証明書でも面接は可能ですが、履修DB-αの方が簡単に実施できて
且つ、効果を高めることができます。

履修DB-α	成績表
全学校が統一フォーマットで 見やすい	学校によりフォーマットが異なり 見づらい
履修データを登録する時に必ず考え 該当するものを選択している	学ポタを考えないまま面接に臨む 学生も含まれてしまう
帳票に表示されているものを聞くだけ 誰でも簡単にできる	学生に話してもらわないと分からない 面接官のスキルが必要
ＧＰＡ平均値や評価が厳しい授業の 情報など相対的レベルが分かるので 評価が簡単	成果のレベル感が分からないので 評価が難しい

履修DB−αとは

履修DB-αは学生が自身の「履修履歴」と「学ポタ」を登録し、応募企業に送信するサービスです。
登録した履修履歴と学ポタは**「学ポタ履修表」**というダウンロード可能な帳票に記載されます。

※例年約20万人の就活生が利用しています



［採用管理システム］

ACCESS ON LINE アクセス オンライン

採用管理システム sonar ATS

i-web

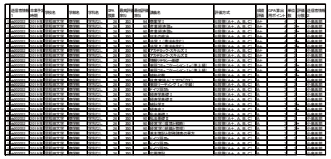
E2R PRO

お使いの採用管理システムに自動連携
他の資料とともに一括管理が可能
対象）AOL　SONAR　i-web　e-2R
（ATS設定費用の有無は運営会社にご確認ください）

❶学ポタ履修表（PDF帳票）



❷CSVデータ



・選考時の人材検索に
・振り返り分析の基データとして
・入社後の人事 DB として様々な用途に活用

※学生の登録は 10分～ 20 分で簡単にできますので応募数が下がった例は報告されていません
※内定後に成績表を提出させることで虚偽の申告を防止できます

学ポタ履修表とは

学ポタと履修結果を相対的な比較が可能な事実情報と照合しながら確認ができます

学 ポ タ 履 修 表

送信者情報１	ds002032			送信日付	2018/6/10 12:12
送信者情報２	小島五郎			卒業予定時期	2019年
大学名	早稲田大学　商学部　学科なし				
評価方式	４段階（A＋、A、B、C）			学校区分	大学
取得済み単位数	94.0	GPA	2.8	最高評価率	21.3%	最低評価率	8.5%
卒業必要単位数	128.0	（前年度学部平均）	(2.6)	（前年度学部平均）	(18.2%)	（前年度学部平均）	(10.2%)

本人の評価
学部平均

卒業可能性

成績評価の高い順

#	講義名	評価	単位数	評価分散	#	講義名	評価	単位数	評価分散
1	総合教育セミナーS（Ⅱ類）	A＋	2.0		41	ドイツ語Ⅰa	B	2.0	
2	社会学Ⅰ	A＋	2.0	*	42	経営史	B	2.0	*
3	社会学Ⅱ	A＋	2.0	*	43	ドイツ語Ⅰb	B	2.0	*
4	日本の政治	A＋	2.0		44	現代社会と医学Ⅱ	C	2.0	*
5	法学Ⅰ（憲法を含む）	A＋	2.0	*	45	Japanese business and Society	C	2.0	
6	法学Ⅱ（憲法を含む）	A＋	2.0	*	46	情報通信政策Ⅱ	C	2.0	*
7	アカデミック・スキルズⅠ	A＋	2.0		47	国際競争のもとでの企業の成長戦略	C	2.0	
8	アカデミック・スキルズⅡ	A＋	2.0		48	ドイツ語Ⅱa	履修中	0.0	
9	情報リテラシー基礎	A＋	2.0		49	産業社会学Ⅱ	履修中	0.0	
10	英語コミュニケーションⅠa（準上	A＋	2.0	*	50	商業学Ⅱ	履修中	0.0	*
11	英語コミュニケーションⅠb（準上	A	2.0	*	51	統計学Ⅰ	履修中	0.0	
12	線形代数	A	2.0	*	52	管理会計論Ⅰ	履修中	0.0	
13	体育実技A（エアロビクス）	A	2.0		53	現代企業経営各論（会社と持続可能	履修中	0.0	*
14	英語リーディングⅠa（中級）	A	2.0		54	ダイレクト・マーケティング論	履修中	0.0	
15	ドイツ語Ⅳb	A	2.0		55	ジャーナリズム論Ⅰ	履修中	0.0	
16	経済学基礎Ⅰ	A	2.0		56	産業史各論（比較小売業史）	履修中	0.0	
17	経済学基礎Ⅱ	A	2.0		57				
		A	2.0	*	58				
		A	2.0	*	59				
		A	2.0		60				
		A	2.0		61				
		A	2.0	*	62				
		A	2.0	*	63				
		A	2.0		64				
		A	2.0		65				
		A	2.0		66				
		A	2.0		67				
		A	2.0		68				
		A	2.0		69				
		A	2.0	*	70				
		B	2.0	*	71				
		B	2.0		72				
		B	2.0		73				
		B	2.0	*	74				
35	ドイツ語Ⅲa	B	2.0		75				

本人がアピールしたい学業場面で発揮しているポータブルスキル
■ バイタリティ・タフさ：課外活動と学業の両方に力をいれ、他の人に比べて忙しいことが平気でバイタリティがあると思う
■ 知的好奇心旺盛：興味を持つ範囲が広い、あるいは興味を持ったことは深めるなど知的好奇心は旺盛な方だと思う
■ その他のポータブルスキル

評価分散マーク：
厳正な評価をしている可能性の高い講義には「＊」がつきます。
※最高評価（例ではA+）が上位30％以下、かつ最低評価（例ではC）が下位10～30%についている授業。４段階評価以外は最高・最低評価率と同様の補正をしています）

・マークの付く授業でＡ＋の人は、相対的評価の中で上位30%に入った人
・マークが多い学校は、全体的に評価が厳しく、学業に注力せざるを得ない環境である可能性が高い

成績発表前は「履修中」で登録。早期から収集しても履修科目を確認できて、成績発表後は最新の成績更新版を再提出してもらえます。

学ポタを ここに掲載

ＧＰＡ、最高評価率、最低評価率　について
本人の評価値と学校・学部ごとの平均値を比較できる

<平均ＧＰＡサンプル>

大学	学部	平均ＧＰＡ
立命館大学	法学部	2.12
立教大学	法学部	2.25
慶応義塾大学	経済学部	2.34
立教大学	経営学部	2.79
上智大学	総合人間学部	2.85
関西学院大学	国際学部	2.91

参考：
GPAが学部平均よりも0.5以上高い場合は、上位1割に入っている可能性が高い
逆に0.5以上低い場合は、下位1割に入っている可能性が高い

学ポタ履修表の特徴

■学生自身が選んだ「学ポタ」を確認可能

■すべての大学が統一フォーマット

■卒業可能性がチェック可能

■同学部平均との比較で評価の相対レベルが分かる

■履修中の科目も登録可能なため、選考の早期タイミングから活用可能

学ポタの例

「学ポタ」は学業場面に表れるポータブルスキルの略で、学業行動の確認をよりポジティブに捉えるため「学ポタ」と言うワードを提唱し、広まってきています

※「成績の良し悪し」「勉強を頑張ったかどうか」「知識レベル」だけでなく継続的に発揮される資質です

学ポタ選択肢

A	目標達成力・実行力	：単位を落とさないなど、自分なりに決めたことは達成させる目標達成力はある方だと思う
B	バイタリティ・タフさ	：課外活動と学業の両方に力をいれ、他の人に比べて忙しいことが平気でバイタリティがあると思う
C	計画性・着実性	：テスト対策やレポート準備などで、計画的に進める計画力・着実性がある方だと思う
D	目標設定力・目標志向	：GPAや特定科目の成績など、自分なりの目標を作って取り組むタイプで目標志向だと思う
E	知的好奇心旺盛	：興味を持つ範囲が広い、あるいは興味を持ったことは深めるなど知的好奇心は旺盛な方だと思う
F	効率性・能率性	：単位の取得や勉強量に比べて成績など、効率的に結果を出せる力は比較的高い方だと思う
G	忍耐力・粘り強さ	：好きなことでなくても必要なら地道な努力を厭わないので、自分なりに納得できる成果を残せる
H	傾聴力・コミュ力	：グループワークなどで他の人の意見をうまく引き出すなど、傾聴力やコミュ力は高い方だと思う
I	知的能力・地頭	：授業等で理解する力・考える力・記憶する力・関連付ける力等の知的能力は比較的高い方だと思う
J	関係構築力	：テスト対策など友人や先生などの周りの協力を引きだす関係構築力は比較的高い方だと思う
K	その他のポータブルスキル	

面接手順　ステップ①　準備

RDC 履修データセンター

➢ **面接時に面接官と学生の双方が学ポタ履修表を手元に用意します**

学生　：履修DB−αから帳票をダウンロード

面接官：履修DB−αまたは自動連携しているATSから帳票をダウンロード

対面・オンライン問わず利用が可能

対面面接



オンライン面接



※帳票は手元に用意するため、画面共有する必要はなく、
グループ面接でも使用可能

面接手順　ステップ②　確認

➢ 学ポタについて根拠を説明させて客観的事実を参考に確認します

- **帳票下部の学ポタの根拠を説明させて、履修履歴や単位数、GPAなどの客観的事実を参考に確認する**

30	微積分Ⅱ	A	2.0						
31	英語リーディングⅡa(中級)	A	2.0						
32	マーケティング・マネジメント論	A	2.0						
33	ドイツ語Ⅱa	A	2.0						
34	産業社会学Ⅱ	A	2.0						
35	商業学Ⅱ	A	2.0						

本人がアピールしたい学業場面で発揮しているポータブルスキル

■ バイタリティ・タフさ：学業外と学業の両方に力をいれ、他の人に比べてバイタリティがあると思う

■ 知的好奇心旺盛：興味を持つ範囲が広い、あるいは興味を持ったことは深めるなど知的好奇心は旺盛だと思う

■ その他のポータブルスキル

具体的質問例

・〇〇さんが選んだ学ポタのうちで最もアピールしたい学ポタの根拠を、学ポタ履修表を使いながら説明して下さい。授業名を言う際には、先に授業の番号を言ってもらえると確認しやすいです。

・「知的好奇心旺盛」を登録していますが、それが強みだと思う具体的な根拠を教えて下さい。

・選んでくれた学ポタのうち、自己PR(ガクチカ)とは異なる学ポタはどれですか？
それを選んだ具体的な理由を教えてもらえますか？

面接手順　ステップ③　評価　例

面接者



「目標達成力がある」という学ポタを選択していますが、学業行動のどんなことからそう思うのですか？
できれば具体的な授業の番号や成績など、履修表にある情報とともに教えてください。

ポイント　具体的な情報で伝えてもらうように促すと、学生も伝えやすく、確認がしやすくなります。

学生



私に「目標達成力」という学ポタがあると思う根拠は、
難易度が高くて単位を落とす人も多い12番から18番の授業について「単位を落とさないだけでなく、
せっかくならちゃんと修得して自分の力にしよう」と自分なりに目標を定めて、
それに向けて努力した結果、苦しみながらもその通り達成できたからです。

面接者



なるほど。
確かに評価が厳しいことを示す「＊」マークが付いている授業ばかりの中で、全てＡ評価以上だ。

※真実であること、レベルが高いことを瞬時に確認できたので、
　続けてその背景にどんな特徴があるのか確認する質問へ移れる

「なぜそんな難しいことに挑戦しようと思ったの？」
「どのように工夫することで達成できたの？」

12	機械基礎力学１	S	2.0	＊
13	安全工学	A	2.0	
14	計測システム	A	2.0	＊
15	機械工学応用	S	2.0	＊
16	工学理論	A	2.0	
17	製図演習	S	2.0	＊
18	材料加工学	S	2.0	＊
19	情報処理	A	2.0	＊
20	機械工学演習	A	2.0	

回答内容から、入社後も同様に目標に向けて奮闘努力出来そうか再現性が分かる

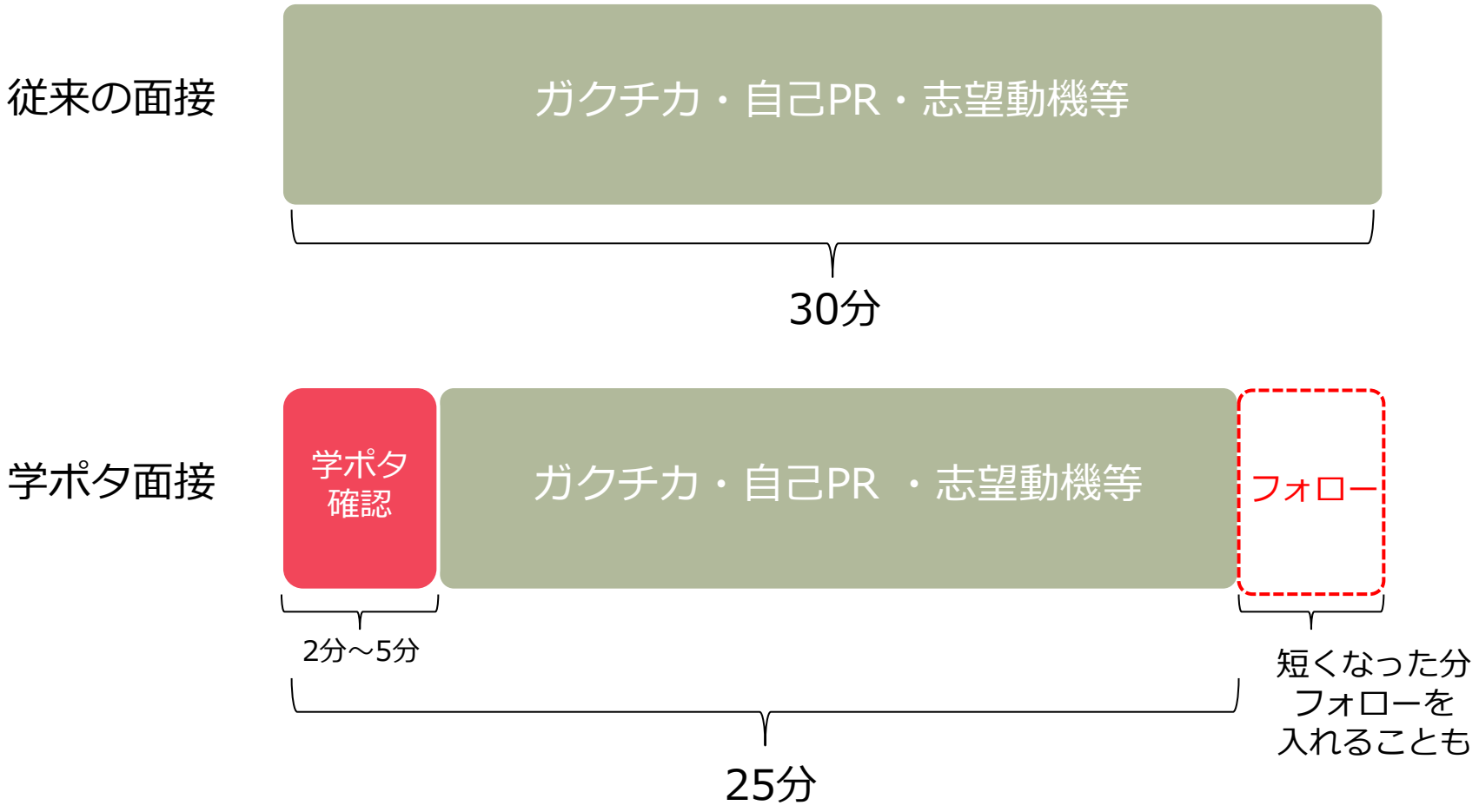
ガクチカと学ポタの
効率性比較　動画

学生の回答例

RDC 履修データセンター

長所タイプ	レベルを感じる根拠・事実の種類	ハイレベル	ベーシックレベル
目標達成力・実行力 単位を落とさないなど、自分なりに決めたことは達成させる目標達成力はある方だと思う	・目標の達成難易度 （・自分なりに決めた目標の数）	専門科目の授業が20単位ありました。その一つも落とさない人は6割くらいだと思いますが、そのすべてでS評価を取ると決めて達成しました	ゼミの担当教授に授業は絶対の単位を落とせないので、その授業に関しては、出席はもちろんテスト対策も万全にして単位を取得できた
バイタリティ・タフさ 課外活動と学業の両方に力をいれ、他の人に比べて忙しいことが平気でバイタリティがあると思う	・両方の活動量 ・学業では：学業に関わる時間、密度、単位数、成績等	1学期あたり取得できる上限の30単位を履修し、平均GPAが3.5（4段階中）以上を維持。さらに、ゼミ活動とアルバイトを週4日以上並行してこなし、いずれも高評価を得ている。	毎学期20～28単位を履修し、B～Cの成績を維持。週末はサークル活動に参加し、平日は毎晩1時間の勉強時間を確保して、単位を着実に取得する。
計画性・着実性 テスト対策やレポート準備などで、計画的に進める計画力・着実性がある方だと思う	・「対象の授業数」「準備期間の長さ」「計画のち密さ」からくる難しさ ・結果としての単位取得の是非・成績	各科目ごとに試験日や範囲を把握し、逆算して1ヶ月前から1週間ごとの学習計画を作成。平日は1日2時間、休日は4時間を確保し、全科目でノート整理と過去問対策を行う。結果として、12科目中10科目でA評価、残り2科目でB評価を取得し、単位もすべて取得。	各授業の講義資料を活用し、範囲をまとめ直して効率的に学習。各日ごとに優先度を決め短時間集中して復習し、全科目でC評価以上を取得し、無事に単位を取得。
目標設定力・目標志向 GPAや特定科目の成績など、自分なりの目標を作って取り組むタイプで目標志向だと思う	・設定する目標の数 ・各目標の難易度と達成レベル	専攻する分野（3科目）で学年トップの成績を取ることを目標に、追加の参考文献を月3冊以上読破。毎学期A+を取得し、教授から「最も優れた理解度」と評価される。	履修している経済学の基礎科目でD以上を目指し、授業内容を復習し毎週30～1時間の自習を継続。結果、D評価を取得して単位を確保し、必要条件をクリア。
知的好奇心旺盛 興味を持つ範囲が広い、あるいは興味を持ったことは深めるなど知的好奇心は旺盛な方だと思う	・興味を持った授業の範囲や分野の広さ ・興味を持った際の深める行動レベル・範囲 ・該当する授業の数や成績	学期ごとに専門分野以外の社会学、心理学、経済学など6科目を履修し、全てでA評価を取得。各分野で追加の参考書を5冊以上読破し、理解を深めた。	授業で興味を持った歴史の出来事について、図書館で関連書籍を2冊以上読んで理解を深める。レポート作成にその知識を活かし、科目評価はBを取得。
効率性・能率性 単位の取得や勉強量に比べて成績など、効率的に結果をだせる力は比較的高い方だと思う	・努力量を成果（単位数・成績）との差 ・それが可能になった理由	1本あたりのレポートを提出期限の3日前までに仕上げ、4科目の学期末課題で全てA評価を獲得。資料収集時に効率的に必要情報を整理し、無駄のない論述を行ったことが高評価に繋がった。	授業中のノートを元に重要ポイントを復習し、試験前3日間の集中的な勉強で4科目中3科目でC以上の成績を取得。限られた時間で効率的に学習。
忍耐力・粘り強さ 好きなことでなくても、必要なら地道な努力を厭わないので、自分なりに納得できる成果を残せる	・地道な努力の内容、量、レベル ・対象となる授業の数、成績	GPAを2.0から3.5に引き上げるため、週10時間の自習時間を年間で確保。苦手分野も逃げずに基礎から取り組み、10科目中8科目でB評価以上を取得し、目標を達成。	成績が低迷していた科目（数学、化学）で平均点以上を目指し、週1回、1科目あたり30～1時間の基礎復習を実施。理解度を徐々に高め、試験ではC評価を獲得し、単位を取得。
傾聴力・コミュ力 グループワークなどで他の人の意見をうまく引き出すなど、傾聴力やコミュ力は高い方だと思う	・対象授業の数 ・具体的な行動のレベル	授業内の課題で、対立する意見を持つメンバー同士の中立役となり、各意見の要点を整理して共通点を見つけ出す全員の意見をうまく調整し、全科目でA+を取得するグループをまとめた。	各グループで意見が偏らないように、全員に順番で発言を促しながら意見を整理。発言しやすい雰囲気を作り、最終的にC+以上の評価を取得し、全員が納得するレポートをまとめた。
知的能力・地頭 授業等で理解する力・考える力・記憶する力・関連付ける力等の知的能力は比較的高い方だと思う	・対象とできる授業の数 ・具体的な事実、成績	文学、社会学、理系科目を含む8科目で成績Aを取得。講義で学んだ内容を他分野と結びつけ、レポートで独自の視点を提示し、優秀学生賞を受賞。	複雑な概念を理解するために、政治学、経済学、数学の各科目で図解を用いて整理。試験前に要点を復習し、全ての科目でC以上の成績を取得して単位を確保。
関係構築力 テスト対策など友人や先生などの周りの協力を引きだす関係構築力は比較的高い方だと思う	・対象とできる授業の数 ・具体的な行動、成績	難易度の高い数学・統計学など5科目のテスト前に学習グループを作り、全員の得意分野を活かして情報共有。効果的な勉強法を取り入れ、全員でA評価を取得。	週1回の講義後に、同じ授業を取っている友人と30分の疑問点確認を実施。分からない点を共有し合い、経済学の期末試験でC評価以上を全員が取得。

２～５分程度で実施できて面接時間は増えません



その他の活用効果①　応募者へのアピールで歩留まりを高める

企業姿勢を伝えて他社との差別化に活用できます

学生に伝えるロゴイメージ



当社が学業行動に着目する意図
・現在の学生は多様な長所を保有していることが確認されているから
・できるだけ学生の多面的な長所を見つけ選考をしたいから
・仕事に必要なポータブスキルは学業でも伸ばせることを伝えたいから
・採用活動が学業を阻害する要因を少しでも軽減させる効果があるから

説明会などで以下のように伝えることでより認識を浸透させられます。

社会貢献　：学生の学ぶ意欲を高めるために、政府の要請にも積極的に対応し、学業面での努力が就職活動で正当に評価される社会の方が望ましいと考えている社会性

多面的評価　：課外活動だけではなく、学業面の強みやポータブルスキルを確認することで、学生のことを多面的に知りたいという企業姿勢

変化への順応：大学の出席厳正化による学生生活の変化や生成AIの台頭による就職活動・採用活動への影響に素早く対応していく柔軟性やスピード感

公平・公正な選考：履修データという客観的な事実情報を用いることで、公正な選考の実施と面接官の印象による不公平な選考の排除に積極的である企業姿勢

その他の活用効果②　内定者フォローで歩留まりを高める

学ポタを自社の仕事内容と結び付けて評価することで、入社意欲を高めながら接点を継続して持つことができます。



履修行動を振り返って
長所を再発見



実は「主体性」や
「責任感」も長所
と発見できた！



実は「効率性」や
「好奇心」も長所
と発見できた！

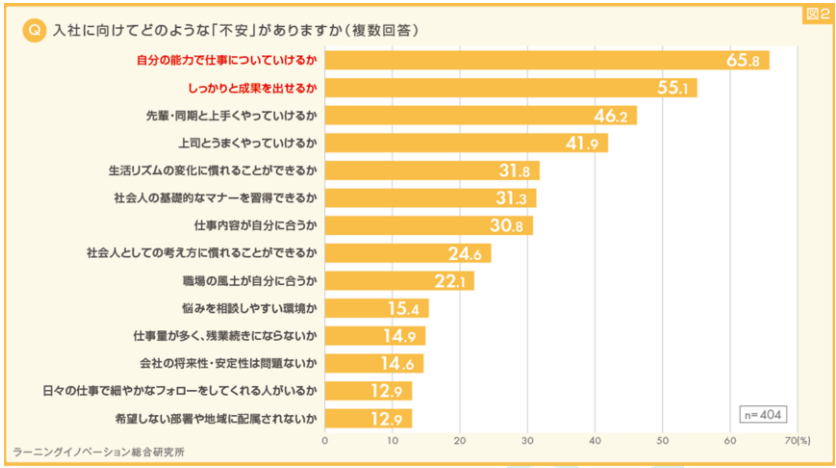
さらに長所を伸ばすための
サポートを継続的に実施

企業のメリット

- ✓ **学生から感謝され企業の印象も高まるため、入社意欲を高められる**
- ✓ **特徴を自社の仕事に結びつけることで、入社を具体的にイメージさせられる**
- ✓ **隠れている学生の良さを引き出し、正確に知ることができる（入社後の仕事に対する姿勢も推測できる）**

学生のメリット

- 自分の強みが客観的に分かる
- 入社前に成長できる
- 先輩社員との信頼関係
- キャリアのスタートダッシュ



履修DB-α　ご利用費用

提出を求める学生の人数で課金いたします。
設定料などの別途費用などは一切ございませんので、リーズナブルにご利用いただけます。
申し込み時に区分を選択して頂くことで料金が確定し、請求書を発行いたします。
その後、送信人数が超過した際には、該当区分料金との差額のみ別途請求いたします。

履修DB-α　2028年卒版　ご利用料金表

区分	データ数（送信人数）	料金（税別）
1	0～10人	20,000円
2	11～50人	45,000円
3	51～200人	88,000円
4	201～500人	132,000円
5	501～1000人	176,000円
6	1,001～2,000人	210,000円
7	2,001～5,000人	270,000円
8	5,001～20,000人	370,000円
9	20,000人 ～	500,000円

- ご利用期間はご契約時から2028年3月末までです。
- 同一学生が何度送信しても「1人」とカウントしています。
- お申込み後、最短約1週間でご利用を開始いただけます。

ご利用企業

RDC 履修データセンター

大手企業から中小企業まで、業界を問わず多くの企業様にご利用いただいております。



三菱商事、伊藤忠商事、丸紅商事、兼松、双日、阪和興業、横河商事、ホシザキ、メタルワン、豊田通商、三菱UFJ銀行、みずほ銀行、三菱UFJ信託銀行、三井住友銀行、新生銀行、横浜銀行、日本マスタートラスト信託銀行、日本政策投資銀行、野村證券、大和証券、みずほ証券、SMBC日興証券、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、東京センチュリー、第一生命保険、損保ジャパン、東京海上日動火災保険、三井住友海上あいおい生命保険　、三井住友海上火災保険、アクサ生命保険、野村総研、日本総研、三井情報、三菱総研DCS、東芝情報システム、さくら情報システム、SCSK、スミセイ情報システム、日立システムズエンジニアリングサービス、安藤ハザマ、大成建設、大成ロテック、三井住友建設、奥村組、竹中工務店、清水建設、西村建設、鴻池組、大林組、三菱地所、住友不動産、野村不動産、三井不動産リアルティ、三井不動産レジデンシャル、東急、大和ハウス工業、積水ハウス、東急リバブル、オリックス、エヌ・ティ・ティ都市開発、ゴールドクレスト、森ビル、鈴与、日揮、日本郵船、飯野海運、川崎汽船、商船三井、東洋冷蔵、シグマ、東日本旅客鉄道、阪急交通社、東日本高速鉄道、大京、富士通、日立製作所、三菱電機、横河電機、ウシオ電機、日本精工、ソニー、パイオニア、オリンパス、キヤノン、ニコン、コニカミノルタ、TOTO、KDDI、オリンパス工業、トピー工業、沖電気工業、東テク、日本トムソン、エプソン販売、TDK、YKK、FUJI、シチズン時計、セイコーホールディングス、任天堂、マクセル、大気社、東京ガス、三菱ガス化学、日油、太平洋セメント、京セラ、三菱ケミカル、帝人、セントラル硝子、東亞合成、AGC、クレハ、富士フイルム、三菱マテリアル、日立金属、明電舎、東邦亜鉛、タキイ種苗、トヨタ紡織　、日立建機、住友重機機械工業、IHI、神戸製鋼所、栗田工業、川崎重工業、日本製紙、グンゼ、ニトリ、しまむら、ぺんてる、三菱自動車工業、日野自動車、マツダ、資生堂、ポーラ、クラレ、旭化成、日立化成、中外製薬、大正製薬、富士薬品工業、アステラス製薬、田辺三菱製薬、日本調剤、エステー、ライオン、ロッテ、日清食品ホールディングス、、日清オイリオ、伊藤忠食品三井製糖、日本コカ・コーラ、雪印メグミルク、森永乳業、森永製菓、江崎グリコ、協和キリン、アサヒグループ食品、エバラ食品工業、エスビー食品、TOPPAN、大日本印刷、日本貿易振興機構、日本年金機構、日本たばこ産業、全国農業協同組合連合会、UTグループ、西部・そごう、小田急エージェンシー、長島・大野・常松法律事務所、森・濱田松本法律事務所、西村あさひ法律事務所、慶応義塾、立教学院、立命館

（順不同）

学ポタを面接に加える効果　まとめ

従来のガクチカによる面接		学ポタ面接
頑張ったことで発揮した力		頑張ったわけではないことにも 表れている長所（効率性など）
好きなこと・得意なことの場面 比較的短時間 （瞬発力・リーダーシップなど）	＋	好きでなくてもやるべきことの場面 比較的長時間　（※仕事に近い） （目標志向・継続性・着実性など）
エピソードの話から確認		エピソード ＋ 事実・証拠資料 によって確認
学生間に不満が広がっている		面接の納得度を高められる

両方聞くことで、

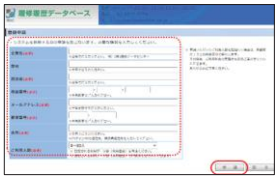
多面的かつ効率的に学生を知り、歩留まりを高められる

履修DB-α　ご利用までの流れ

履修DB－α　導入から面接利用までの流れ

➢ 1. 申し込み手続きをして利用開始

WEB上で申し込み手続きを行うと、アカウント情報がメールで届きます



WEBの申し込み画面から
規約に同意し連絡先などを入力。
1～2分で手続き可能です。

3営業日以内
にメール送付



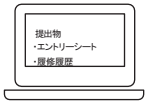
利用開始に必要な［企業コード］［ログインID］［パスワード］記載の書面がメールで届きます。
面倒な初期設定は必要なく、すぐに利用を開始できます。

➢ 2. 学生に提出を依頼して、履修データを収集

他の応募書類と同様に応募者に提出依頼をすると、学生から履修データが送信され、管理画面で閲覧が可能になります。
また採用管理システム（ATS）と連携すると、ATS側にも即時に結果が反映されます。（AOL、SONAR、i-web、e2R）

**採用管理システム
との連携の場合**

［学生マイページ］



提出物の表示欄に
履修表を追加

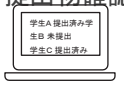
学生



マイページの指示に従い送信

連携

［ATS内　提出物確認画面］



他の資料と共に管理し閲覧・出力

**ナビサイト等で
連絡する場合**

［マイナビ等のメッセージ機能］や
［汎用的なメールソフト］など



定型の依頼文で
提出を指示

学生



メール等の指示に従い送信

［履修DB－α企業管理画面］



一覧画面から閲覧・出力

➢ 3. 学ポタ履修表を出力して面接に活用

学生は自分用の帳票を出力して面接に参加

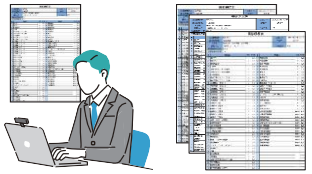


自宅で　出力



**面接で
学ポタ確認**

面接資料として出力した帳票を面接官に共有

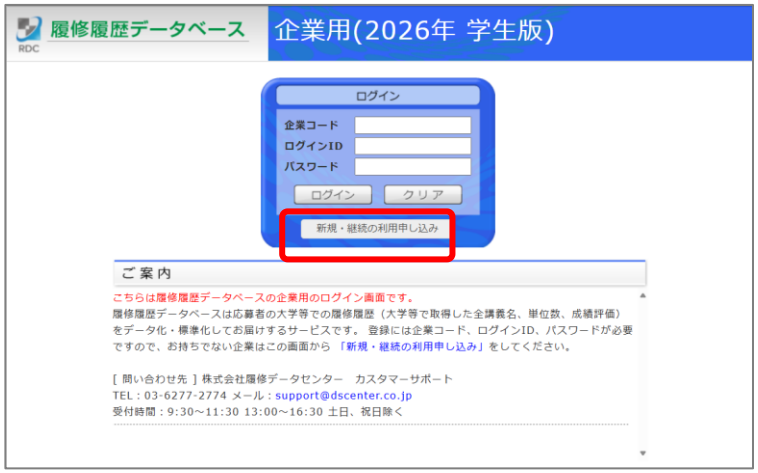


【参考】お申込み手続きから利用開始

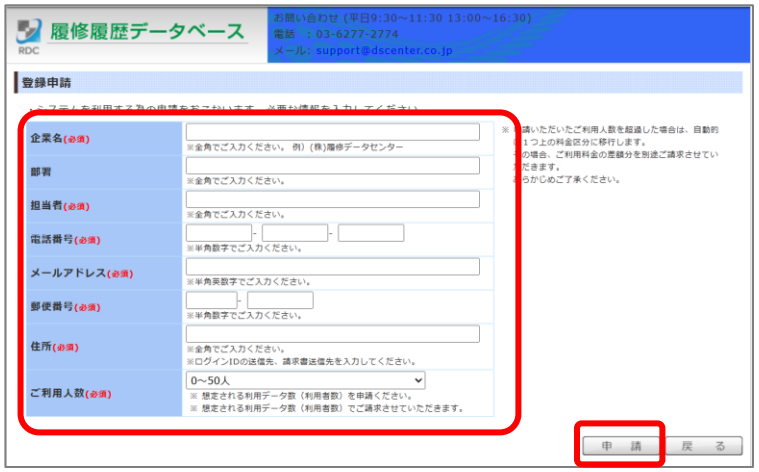
※履修データセンターに直接お申込み頂く際の手続き方法です
販売代理店からの手続きは各代理店担当者様にご確認ください

RDC 履修データセンター

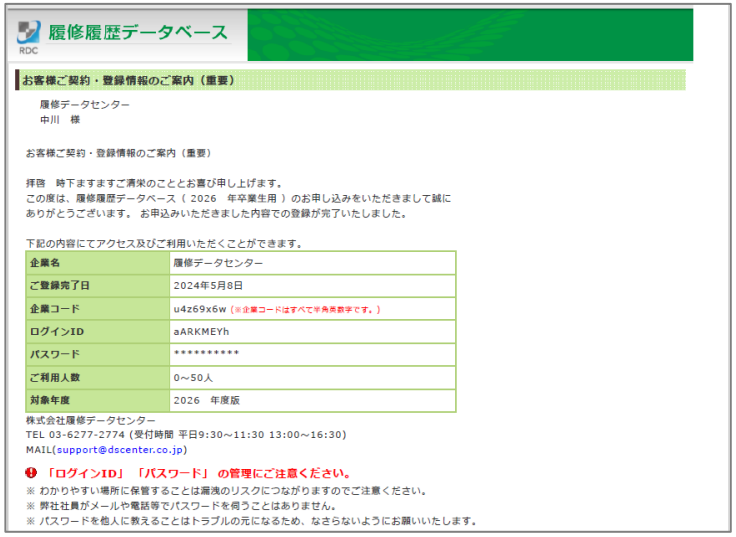
ログイン画面の新規申し込みボタンから手続きを開始します



「企業名」「担当者連絡先」「ご利用人数区分」を選択して「申請」ボタンで手続き完了



3営業日以内にメールでログイン情報が届いて利用開始



申し込み時に送信見込み人数でご利用の区分を選択していただき、利用料を請求させて頂きます。

区分	データ数（送信人数）	料金（税別）
1	0～50人	40,000円
2	51～200人	80,000円
3	201～500人	120,000円
4	501～1000人	160,000円
5	1,001～2,000人	190,000円
6	2,001～5,000人	240,000円
7	5,001～20,000人	330,000円
8	20,000人 ～	500,000円

【参考】 学生への提出依頼から学ポタ履修表出力のイメージ

RDC 履修データセンター

➢ 依頼文のひな型をご用意しているので、お使いの連絡手段を用いて応募者に提出依頼を送ってください

履修履歴提出のお願い

●●●●様

この度は当社へご応募頂きまして、誠にありがとうございます。

当社では、採用選考時に履修履歴を活用した面接を行います。
「履修履歴データベース(2026年版)」を利用して弊社宛てに履修履歴を提出してください。
(※履修履歴とは、大学等で取得した全科目名(履修中含む) ・単位数・評価です)

提出期限： ○月○日

【履修履歴提出の手順】

①右記URLより登録 https://service.dscenter.co.jp/dss/student/login?year=2026
　登録方法は右記マニュアルを参考にしてください http://dscenter.co.jp/student/index.html

②送信・印刷画面から下記の情報を入力し送信(提出)してください。

◇企業コード ： abcd9999
◇送信者情報１ ： ○○を入力してください
◇送信者情報２ ： △△を入力してください

履修履歴の登録・送信に関してご不明な点は、㈱履修データセンターＨＰ「よくあるご質問」をご確認頂くか、
学生サポート窓口 （student@dscenter.co.jp／03-6277-2774 平日9:30～11:30　13:00～16:30）へ直接ご連絡ください。

ご提出をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

学生は履修DB-αにログインして
貴社にデータを送信します



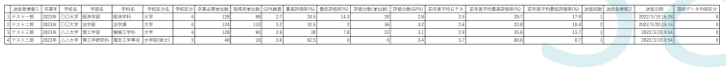
➢ 送信されたデータは即時に企業管理画面に反映され、出力ボタンで帳票やCSVデータを出力できます



学ポタ履修表を出力して面接にご利用ください



CSVデータを出力して分析などにご活用ください



【参考】 履修DB－α　企業用管理画面の操作イメージ

RDC 履修データセンター

➢ 極めてシンプルな管理画面なので、マニュアルを見なくても直観的に操作が可能です



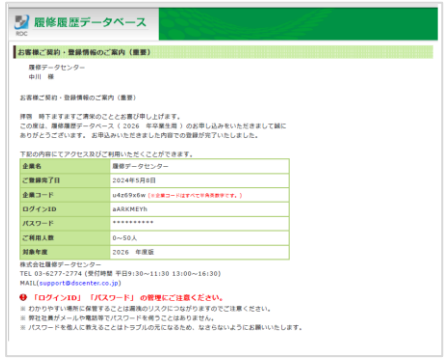
各種検索で
対象を絞り込み

PDF帳票や
CSVデータを
出力

【参考】 ATS連携による利用のイメージ （画像はAOLの場合）

RDC 履修データセンター

➢ ATS運営会社に連携の設定を依頼すると、応募学生のマイページに提出用ボタンが表示されます



弊社からお送りした通知書類に記載の
「企業コード」等をATS運営会社に伝え
連携の設定を依頼してください

運営会社が連携を設定

※サービスによっては自分で
設定する場合もあります



マイページに履修データ提出ボタンが表示されます
学生はここから履修DB−αを開き、データを送信します

➢ ATS内の管理画面から帳票を出力できます



出力



帳票イメージ
※デザインは開発中のものです。
変更の可能性もありますのでご了承ください。

① TOP画面のアクションパレットから［PDF印刷］を選択し、〈実行〉をクリックします。
② 印刷形式の〈履修履歴（成績表）〉をクリックすると
PDF印刷画面に進みます。

【参考】 履修DB－α　学生の登録・送信のイメージ

➢ 1. アカウントを作成 （初めての利用時のみ。次回以降は自分で設定したIDでログインして利用します）

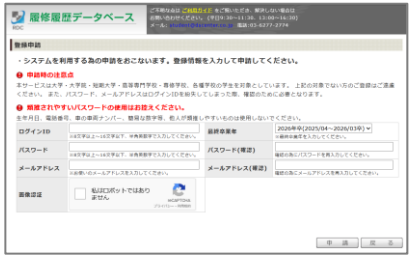
新規登録ボタンから開始



規約を読んで同意



希望のログインID等を指定して登録
※個人情報はメールアドレスだけ



➢ 2. 履修履歴、学ポタを登録 （1度登録すれば何社にも使いまわしできます。新たな成績発表時は追加更新します）

学校・学部などを選択



履修講義名と成績評価を入力
※一括入力できるので所要時間は15分程度



自分に当てはまる学ポタを選択
※全学生必須



➢ 3.「送信」操作で企業への提出が完了（他社で登録済みの学生は1、2は飛ばしてこの「送信」のみで提出完了です）

企業コード等で送付先を指定して送信
※ATS連係の場合は自動入力



送信履歴は全て確認できて
学生閲覧用の帳票PDFも出力可能



出力



よくある質問

学生の手間は？

履修履歴はコピー＆ペーストにより15～30分程度で登録できますので、手間にはなりません。また、1度登録したデータは使いまわしができるため、成績証明書の提出を都度求められるより学生の利便性は高まります。
また、学ポタも11個の選択肢から最大3つまでを選ぶだけなので、ほとんどの学生が1-2分程度で完了します。

応募数は減らないか？

上記の通り手間はかかりませんし、現在は学業での行動について質問して欲しいと考える学生が多いです。
2015年のサービス開始時から、業界・規模に関わらず履修履歴提出の依頼により応募数が減ったとの報告は受けておりませんので安心してご利用ください。

正直に登録するのか？

履修履歴データベースの仕組み上、虚偽の申告をすることは可能ではありますが、学生の利用画面内やHPにおいて「基本的に入社前までに成績証明書の提出を求められる」旨を学生に伝えており、それによって虚偽申告の抑止となっております。これまでご利用の企業からは意図的な虚偽申告の報告は受けておりません。

面接時間が足らない

客観事実を参考にする面接は真偽判断のための深掘りが必要ないため、むしろ時間を短縮できます。
実際に、すでにご利用いただいている企業から面接時間が減り面接官の負担も軽減されたという声もあります。

利用期間は？

ご利用開始時から卒業時までです。28卒版の履修DB-αの場合、2028年3月末までご利用いただけます。そのため、選考の早いタイミングからご利用いただく企業も多いです。